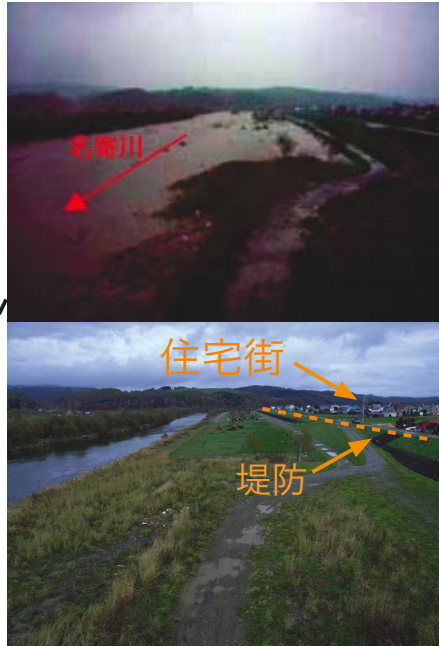
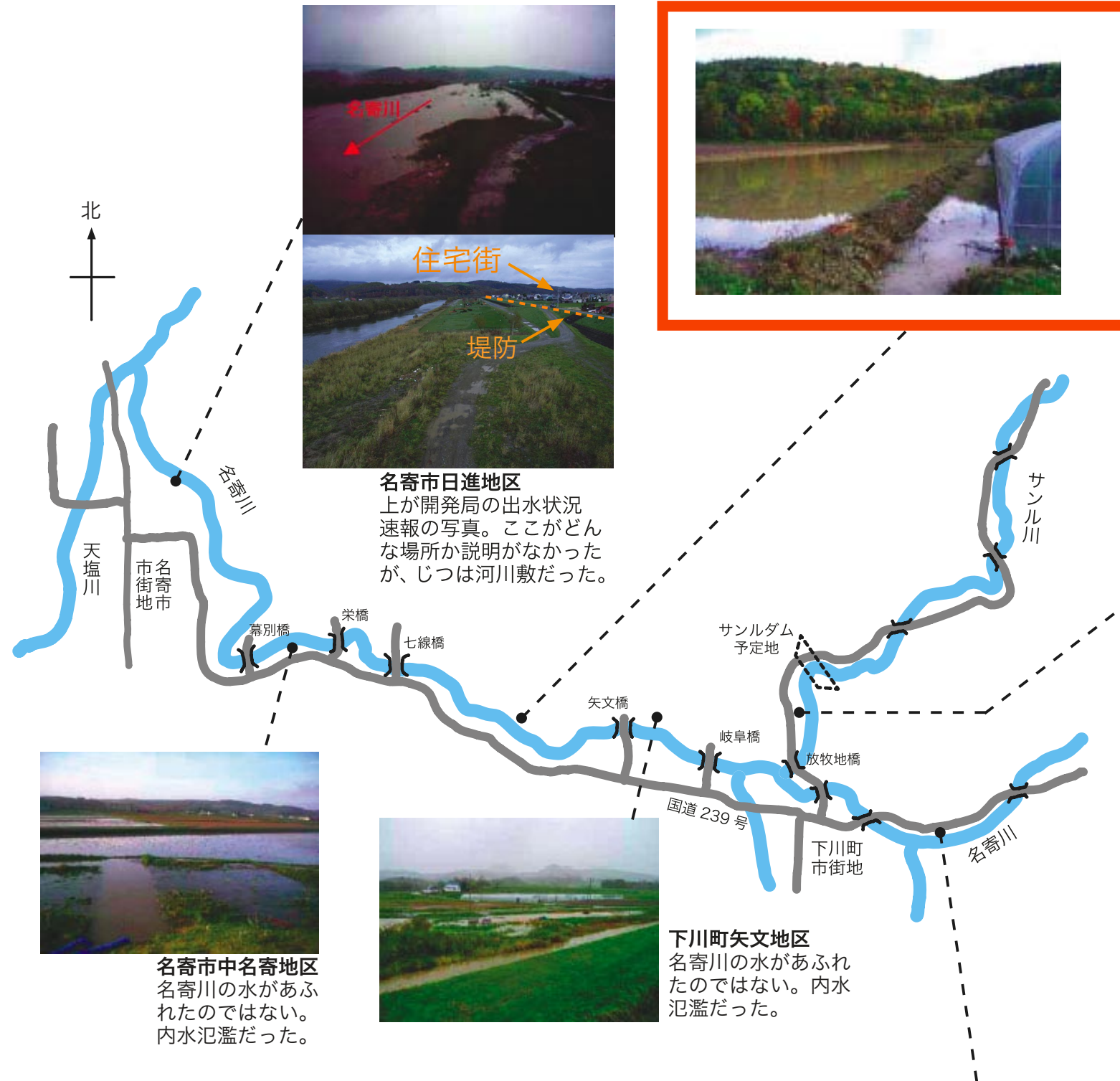


資料 2 2006.10 浸水被害の状況



名寄市日進地区
 上が開発局の出水状況速報の写真。ここがどんな場所か説明がなかったが、じつは河川敷だった。



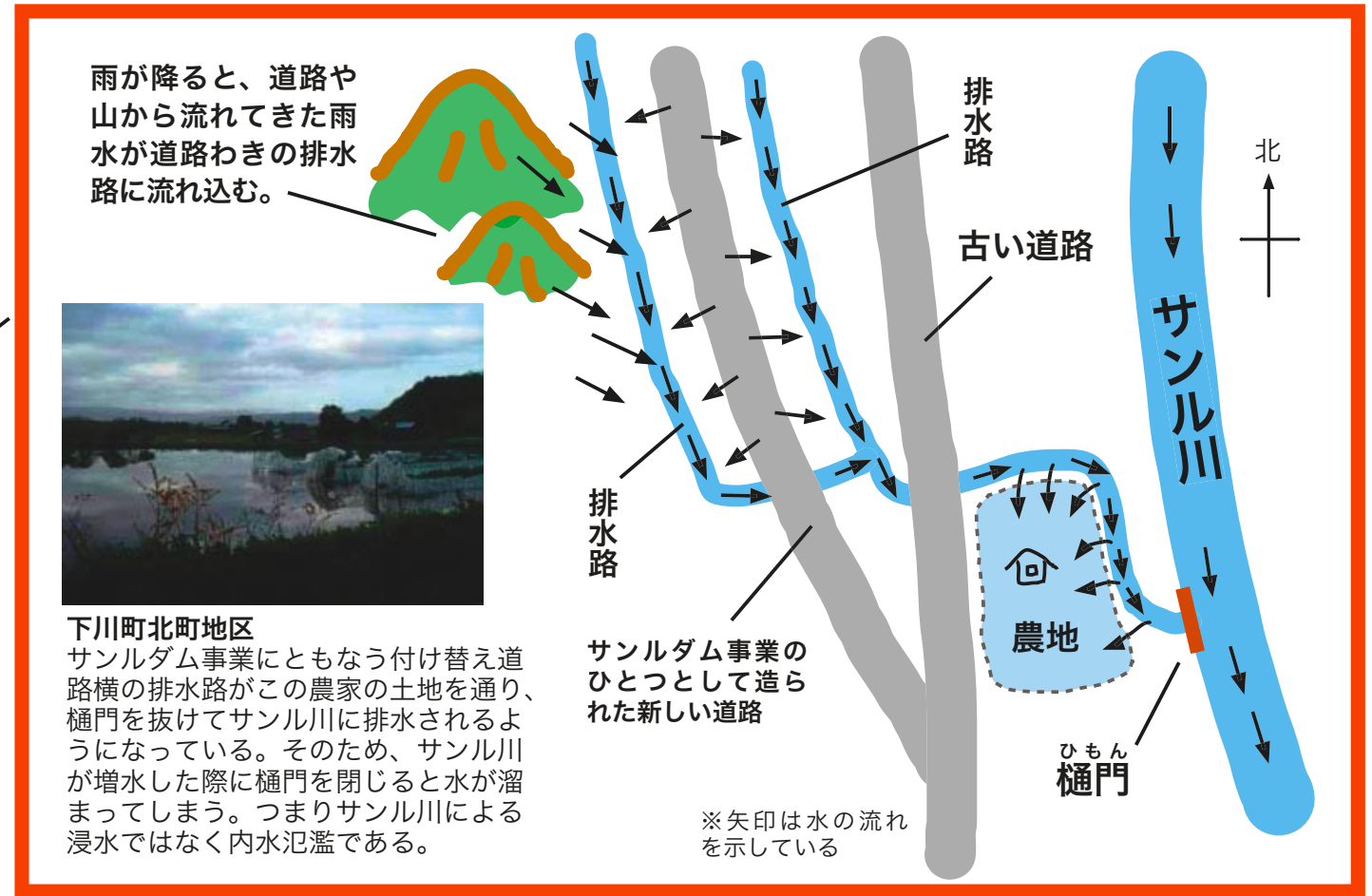
下川町上名寄地区
 右岸堤防が未整備のため名寄川の水が氾濫した。川岸の盛土も浸食を受けている。サンルダムを建設しても、整備目標の洪水では浸水を免れられない。早急な対策が必要。



名寄市中名寄地区
 名寄川の水があふれたのではない。内水氾濫だった。



下川町矢文地区
 名寄川の水があふれたのではない。内水氾濫だった。



雨が降ると、道路や山から流れてきた雨水が道路わきの排水路に流れ込む。



下川町北町地区
 サンルダム事業にともなう付け替え道路横の排水路がこの農家の土地を通り、樋門を抜けてサンル川に排水されるようになっている。そのため、サンル川が増水した際に樋門を閉じると水が溜まってしまう。つまりサンル川による浸水ではなく内水氾濫である。



下川町三の橋地区
 堰堤の右岸側から名寄川の水があふれて浸水した。無堤防地区なので堤防があれば浸水を防ぐことができた。ここはサンル川との合流点よりも上流だからサンルダムの効果はおよばない。

※写真の一部は北海道開発局の「低気圧による天塩川の出水状況（速報版）」より転載